

年金引き下げを許さない「不服審査請求書」

怒りを全国 12 万人以上が提出

高齢者の命綱である年金を 3 年間で 2.5%減額するという攻撃が、昨年 10 月に実施され、全日本年金者組合を中心に、行政不服審査請求という手法活用で「年金を減額するな」「生きる権利を蹂躪するな」という怒りの声を厚生労働省に突きつける運動を展開しました。

1 月 31 日厚生労働省前に、怒りの「不服審査請求書」が積み上げられました。全国では、12 万人以上、東京では 11,000 人以上が提出しました。

東京と神奈川が 1 万人を超えました。OB 懇談会へも 35 名を超える方々から不服審査請求書が届けられました。ご協力ありがとうございました。

厚生労働省前の報告で、年金者組合員以外の方々からも「私にも協力させてくれ」と年金減額への多くの声が寄せられ、10 万人目標を大きく超え 12 万人もの怒りの不服審査請求書が提出されました。

昨年春には、保育園に入所させてもらえない保護者たちが不服審査を提出し、秋には、生活保護制度の改悪に対し不服審査請求がされました。今年になり年金者の不服審査請求運動となりました。

4 月から消費税増税が実施され、介護保険や国保への負担増と年金のさらに 0.7%の減額では将来不安が増すばかりです。

年金生活者の年金はほぼ全額が消費にまわされ、3 年で 2.5%減額は、年間で約 1 か月分の年金が減らされる計算です。景気にも大きな影響が出てきます。

憲法 25 条が生かされる社会。働く者たちが将来に希望が持てるような、賃金も上がり、まともな働き方ができる社会にするため、あきらめず声を上げ続け、出来る行動をしていかななくてはと思うこのごろです。

(OB)